

研究実施責任者	プロジェクト名	期間	配分額(円)
看護学部・教授 内田 雅子	高知県の血管病ハイリスク群への重症化予防推進モデルの開発ー慢性疾患看護専門看護師による病院と地域の看看連携を中心にー	H29-H30	1,876,000
研究概要			
<p>本事業の目的は、慢性疾患患者の視点から地域での療養を取り巻く課題を分析し、血管病ハイリスク群への重症化予防の理論的方策を明らかにすることである。具体的には、高知県の血管病ハイリスク群の重症化プロセスの実態を分析し、慢性疾患看護専門看護師による重症化予防推進モデルを開発することである。</p> <p>高知県は男性の平均寿命が短く、特に働き盛りの壮年期男性の血管病による死亡率は全国平均を上回っている。これは他県よりも中小・零細企業や農林水産業の割合が多く、産業保健サービスを受ける機会が十分に確保されない就労者が多いことが推測される。また高知県内の医療体制は、高知市を中心とする中央医療圏に約8割の医療機関と医療従事者が集中し、無医地区も多く医療へのアクセスが制約された医療過疎地の住民が広範囲に存在する。一方、高知県民の受療行動としては、医療機関へのアクセスの悪さだけでなく経済的不利などにより、駆け込み受診・駆け込み入院も多く、疾病予防や重症化予防に関して課題がある。</p> <p>患者は、外来ー急性期病棟ー回復期病棟ー在宅ー職場と療養の場を移行するたびに、異なる看護職へ、自分たちの意思を伝える交渉がその都度必要となるため、その負担感を解消するために、継続的かつ一貫して支援する病院と地域の看看連携が必要である。</p> <p>これまでの病院と地域の療養の場との連携に、慢性疾患に心理社会的要因が長期的にどのような影響を与え、症状がどのように進行するかを見通しながら、個々の人生のwell-beingを重視した意思決定を支援するための実践知を築いている慢性疾患看護専門看護師が加わることで、血管病に代表される慢性疾患の重症化予防支援は強化されると思われる。</p>			

研究 成 果

(1) ヘルスデータの二次分析による課題分析と重症化プロセス分析対象の地域・疾患の選定
高知県が推進する血管病重症化予防対策とその現状の課題構造について、健康格差と社会的決定要因の関係から整理した。以上の結果は、看護学部FD研修会で公表し、聞き取り調査の協力者等及び看護学部教員等と問題を共有した。

(2) 対象地域・疾患の重症化プロセスの事例分析

生活習慣病・血管病の重症化へ心理社会的要因と意思決定支援が与える影響についての知見が得られ、高知県の施策のさらなる改善に貢献する資料を提供した。また本調査結果は、看護の基礎教育において教材として活用することができ、地域完結型医療時代に活躍する人材育成に貢献した。

(3) 慢性疾患看護専門看護師による病院と地域をつなぐ血管病の重症化予防推進モデルの開発

慢性疾患看護専門看護師を活用した血管病重症化予防推進モデルの開発に取り組んだ。また、地域医療連携体制構築に向けた看看連携と慢性疾患看護専門看護師の新たな役割開発について言及し、医療機関における血管病重症化予防の組織的方策へ新たな選択肢を提言した。

成 果 物 等

【公開講座】

1. 特別公開講座：高知県民の血管病重症化予防を地域連携で推進しよう！！－佐賀県の糖尿病コーディネーター看護師を活用した『ストップ糖尿病』対策に学ぶ地域連携の方策－

日時：平成30年9月16日（日）13：30～17：00

場所：高知県立大学池キャンパス大講義室

主催：高知県立大学看護学部慢性期看護領域

共催：高知県、高知県立大学健康長寿センター

講演：高知県看護協会、高知県糖尿病療養指導士会

内容：高知県の血管病重症化予防推進モデルを検討するにあたり、先進事例として佐賀県の取り組みを学ぶ。

参加者：71人

【論文】

1. 田村美和, 山中福子, 園田由美, 内田雅子. (2020). 高知県の生活習慣病重症化プロセスにおける社会的決定要因の影響. 高知女子大学看護学会誌 46(1): 49-58.

【学会発表】

1. 内田雅子, 古賀明美, 山中福子, 高樽由美, 田村美和, 永渕美樹, 藤井純子. (2019). 交流集会:SDGs時代の地域医療における慢性看護実践. 第13回日本慢性看護学会学術集会, 神戸市.

【高知県医療介護総合確保基金提案書】

1. 医療介護総合確保基金を用いた平成年度事業(医療分)提案書「糖尿病保健指導連携体制構築事業」